



ゆめ通信

2024.11.1. No.136

発行 日本養豚事業協同組合

〒104-0033 東京都中央区新川2-1-10
八重洲早川第2ビル6階

TEL.03-6262-8990 FAX.03-6262-8991

第25期九州支部セミナー開催

第25期九州支部セミナーは9月27日（金）都城市の都城ロイヤルホテルにて開催されました。参加者は総勢118名となり会場が満席となるほどの多くの方にご参加いただきました。

最初の講演は、有限会社ビクトリーポーク代表取締役・中岡亮太氏より「ハイヘルス環境で持続可能な養豚経営へ」と題してご講演頂きました。

○農場情報

- ・北海道余市郡仁木町、他2農場
- ・母豚2700頭（種豚供給農場としての機能もあり）
- ・品種：ケンボロー
- ・飼料：エコフィードを活用したりキッドフィード（自社飼料工場にて製造）

はるばる北海道から九州講演、中岡亮太氏

(有)ビクトリーポーク沿革

祖父が戦後すぐの1946年に養豚業を開始し、1973年には父・中岡勝氏（現同社会長）が代表となり母豚200頭の一貫経営、1989年に有限会社ビクトリーポーク設立、1990年に仁木町に新農場が完成し1993年に母豚300頭規模となりました。この時期から種豚場としての運営が始まったこともあり防疫に力を入れ、ウィンドレス豚舎で疾病対策を徹底してきました。生産を継続する中で1農場だけの防疫体制に限界を感じ、繁殖と肥育を分離するツーサイト化を検討しました。そして2003年77haの広大な土地を取得し肥育農場として年間17000頭を出荷する樽前農場を新設し、既存の仁木町長沢農場は母豚2000頭の繁殖農場として生まれ変わりました。続いてエコフィードの採用と樽前農場の敷地に新肥育場を増設し、2013年には自社飼料工場が完成しました。そして、さらなる規模拡大として、2019年母豚700頭一貫農場

登別農場を新設、2021年に中岡亮太氏が代表取締役に就任し、現在年間7万頭出荷しています。

衛生管理へのこだわり

「病気がない農場」を養豚の基本として定めており、病気を外部から入れない、病気を外に持ち出さない、衛生的な環境を心掛けています。ツーサイトにする事で、繁殖と肥育が分離され病気の行き来をなくし、すべての農場でオールイン・オールアウトを実施し、豚舎は徹底した洗浄・消毒によりハイヘルスを保っています。また、厳重な防疫管理を徹底し、シャワーイン・シャワーアウトや人・物・車両の出入り制限を1989年から今に至るまで徹底して継続しています。

広大な北海道は移動距離も長い！

防疫体制を高めるためのツーサイトですが、繁殖農場である長沢農場から肥育農場である樽前農場までは、夏場122km、冬場は151km（雪などで通行制限がかかるため遠回りになる）とかなりの時間を要するため20日齢・5.5kgの離乳豚を出荷するも到着時

仁木町・長沢農場

- ▶母豚2,000頭の繁殖農場
- ▶約1,000頭/週の離乳豚を生産
- ▶20日齢、5.5kgの子豚を肥育農場（樽前農場）へ出荷します。
輸送距離は、夏場：122km、冬場：151km
- ▶原種豚の販売
- ▶農場HACCP認証の取得
- ▶一番近くの養豚場までの距離は18.3km



図① (有)ビクトリーポーク長沢繁殖農場

苫小牧・樽前農場

- ▶ 常時飼養頭数18,000頭の肥育農場
- ▶ 敷地面積74ha(東京ドーム約16個分)
- ▶ 農場HACCP認証の取得
- ▶ リキッドフィーディングシステム導入
- ▶ SDGsの取り組みとしてエコフィードを活用した道産飼料原料を30%活用
- ▶ 一番近くの養豚場までは、25.5km



図② (有)ビクトリーポーク樽前肥育農場

には体重が減ってしまうこともあります。

樽前肥育農場の立地は、飼料工場から近く、出荷すると場にも近く、従業員がなるべく集まりやすいように都市部近郊を検討、仁木町からの距離は離れていますが苫小牧市になりました。北海道は積雪も多いため、耐積雪における建築コストも考慮し、比較的雪の少ない地域を選択した側面もありました。

出荷先のと場も樽前肥育農場から近いところは48kmですが、出荷先との契約もあり一番遠いところは北見市353kmまで(運賃3500円/肉豚、片道6時間)出荷することもあります。遠い場所はコストも高く自社で出荷した方が安価ではありますが、防疫の観点から出荷はすべて委託しており、農場には入らない場所で受け渡しをしてと場との交差を避けています。

ハイヘルス環境下にPED侵入、徹底した清浄化

全国で流行したPEDが2015年、ビクトリーポークにも侵入しました。その際は徹底的に経路を洗い出し、撲滅のために動きました。出荷デポとしてコンテナが3か所あり、そのコンテナは徹底洗浄されていたのですが、1コンテナには専用のトラックとルール化していたものの、実際は2コンテナを1トラックで運んでいたことが発覚し修正しました。そして各豚舎の入口に簡易シャワー室を設けて豚舎間の交差感染を排除しました。その上でオールアウト時は、洗浄・消毒を3回繰り返し、乾燥期間もしっかりとりました。その際はスノコを裏返し裏側の隙間を高圧洗浄機に専用ノズルを作り徹底して洗浄しました。そのため空舎期間が長引き、子豚の収容が3~4倍の密飼となってしまうDG(日量増体)が悪化しましたが、ハイヘルス環境が守られたため肥育

豚の事故率上昇は至らず、PEDは清浄化されました。

今までの経験を生かして防疫に配慮した登別一貫農場の新設

2019年に登別に母豚700頭の一貫農場を新設しました。当初はこちらも防疫的観点からツーサイトを検討したが、用地や費用の問題があり一貫農場でどれだけ防疫を徹底できるか迫り農場を設計しました。また地域からの要望もあり屋根を緑色にして環境になじむようにするなど配慮もしております。

出荷エリアを農場区域外にするため、出荷デポとしての機能を持つ一方通行の豚舎(200頭収容)を建てております。農場のスタッフは内部ドアから出荷側に豚を移動させると、その後出荷の委託業者は外部ドアをあけて積み込むため出荷の際の外部との接触がなくなりました。またこの豚舎が3棟あり、週3回の出荷時に1回ずつ利用し、次の出荷まで洗浄消毒後1週間開けておくことができるため、より病気の侵入を防ぐことができます。

病気と闘わないで持続可能な経営を

病気がない状態になることで増体やFCがよい状態で保たれていきますが、最大のメリットは薬剤衛生費が安く済むことです。昨年も745円/肉豚で毎年600~700円台となっています。離乳後事故率は6%前後で夏場を中心に高まってしまっていることが今後の改善ポイントです。ただそれが大きく跳ね上がることはないで衛生費が安く抑えられ、コストが見込める状態で生産できていますので、先行きが見通せる持続可能な状態だと判断しています。

続く講演は、有限会社松村牧場専務取締役・松村

登別市・登別農場

- ▶ 母豚700頭規模の一貫農場
- ▶ JGAP認証の取得
- ▶ 2020年10月より出荷開始、年間出荷頭数20,000頭を達成
- ▶ 農場の設計で工夫した点
- ▶ 一番近くの養豚場までの距離は5km



図③ (有)ビクトリーポーク登別農場

淳氏より「豚事協の取組実践～Topigs×メンデル×ゆめシリーズで利益を残せる経営を～」と題してご講演頂きました。

○農場情報

- ・埼玉県加須市
- ・母豚280頭
- ・品種:TopigsNorsvin (GP導入)、デュロック (購入精液:(株)メンデルジャパン)・飼料:ゆめシリーズ全量利用

劇的成績改善、豚事協の取組実践

1971年母豚10頭一貫経営で始まった有限会社松村牧場(1975年法人化)は、1983年母豚200頭に、1992年に豚舎を建て替えて母豚300頭へ拡大してきました。その間1993年よりSPF豚協会の認定農場を継続して病気の侵入を防いできました。そして、2017年に肥育舎、ストール舎、育成者を建て替えるタイミングで大きな変革をおこないました。

Topigs Norsvinへの全頭切り替え、その管理のため(有)サミットベテリナリーサービスへのコンサルタント依頼、メンデルデュロック精液への変更と豚事協が推奨してきた取組の実践を行いました。豚事協発足以来飼料は全量ゆめシリーズを採用しており、

まさに「良い豚、良い餌、良い管理」の実践となりました。以前からハイヘルスな環境のため薬剤衛生費は低く、離乳後事故率も低く、ゆめシリーズの能力を発揮してFCRも高い水準でした(図④参照)。

そこからさらに改善が続き、直近の2024年1月～6月の成績では総産子数(11.02頭/腹から15.97頭/腹)が増え、そのため離乳頭数(10.02頭/腹から13.32頭/腹)・出荷頭数(22.58頭/母豚/年から32.07頭/母豚/年)が増え、上物規格改定に対応した枝肉重量の増加も加わって、出荷枝肉重量は1754kgから2579kgまで向上し、大幅に改善が進みました(図⑤参照)

増体重の改善、出荷日齢の改善も進み、以前からよいFCRや薬剤衛生費も維持されており、最終的に高い粗利益率に至るまでになりました。

改善後実際の売上、利益

2017年に農場建て替え、種豚入れ替え実践後の3年後2020年には売上、利益ともに大きく向上しましたがその反面、急激な産子数の増加に肥育豚舎のキャパシティが不足し、母豚数を280頭に減らしました。2023年度決算では飼料高騰のこの時代でも変更前の2016年の決算と比較すると年間売上1.6倍、年間利益1.5倍と劇的な改善となりました。現状も管理能力の



図④ (有)松村牧場2016年JASVベンチマーキング生産性ツリー

農場ID:JV108 (期間:2024/01~2024/06)

2024年 生産性ツリー

3 生産性ツリー

直近の成績

(2024年1~6月)



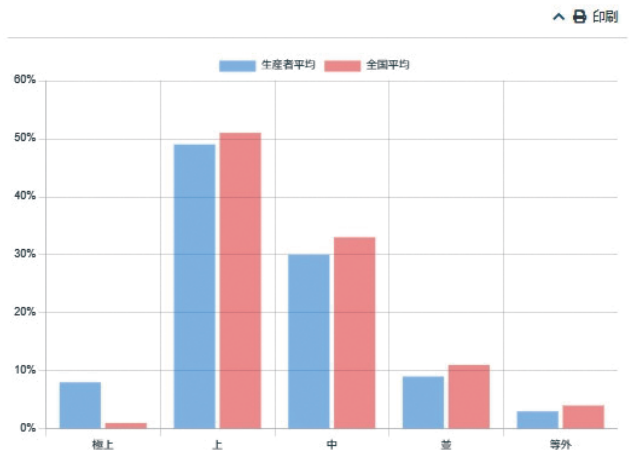
図⑤ (有)松村牧場2024年1月~6月JASVベンチマーキング生産性ツリー

向上に伴い繁殖成績の向上は続いておりさらなる成績向上も見込まれています。

現状の出荷状況 格付が中物の方が高いことも

2020年・2022年さいたま市場共進会で農林水産大臣賞を受賞するなど、市場での評判もとても良好な状態が続いています。TopigsNorsvin導入前からブランド豚「香り豚」を展開していたため、肉質の変化があるのでは、と非常に神経をとがらせていましたが、取引先は変わりなく評価してくれており全く問題がなかったと実感しています。最近では成績はもちろん、極上評価までつくようになり枝肉の品質という観点でもよくなったのではと思っています。防疫の観点から1日1車38頭出荷のみとしているため現状の出荷状況だと枝肉重量が上の範囲を超えてしまう場合があり、枝肉は均整がとれており、背脂肪厚も上物範囲内で収まり、買参人からの評価も高いため場合によっては上より高値が付くこともあり出荷体重の増加はあまり問題としていません(図⑥⑦⑧参照)。今年の夏場(8月)もその方針のまま行い、枝肉重量は通期平均よりは減っていますが、背脂肪は2.0cmは保てられているため、非常に高温な地域ですが、上物範囲内を保ち良好な出荷となっています。TopigsNorsvin×メンデルデュロック精液の肉豚の管理が日に日に向上していると実感しています。

等級割合

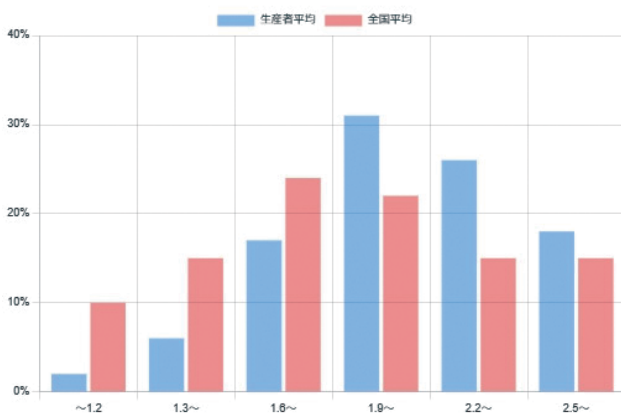


図⑥ (有)松村牧場2024年1-6月出荷実績等級割合*

重量分布



図⑦ (有)松村牧場2024年1-6月出荷実績重量分布*



図⑧ (有)松村牧場2024年1-6月出荷実績背脂肪分布*

豚事協指定配合飼料ゆめシリーズの実際

2023年より豚事協指定配合飼料ゆめシリーズの配合内容を決定する会議である飼料品質研究会の会長は私が拝命しております。常に最適でシンプルな飼料を目指しここ1年間は大幅な見直しも行ってきております。人工乳のCPダウンでコストダウンと同時に多くの会員が離乳前後の下痢低減にも成功しました。また無機亜鉛から有機亜鉛に変更したことでヒネ豚が相対的に減り増体重、出荷体重などで改善が起きております。またアミノ酸バランスの強化も行い、さらなる飼料効率の改善を実感しております。このように利用者が直に意見を言える、結果をフィードバックできるという仕組みがまず第一に素晴らしい点です。そして、成長曲線に見合った給餌が可能となる設計ですので、全ステージで使用することでより飼料効率がよくなります。実際に松村牧場では常にJASVベンチマーキング飼料費の評価より枝肉飼料費の評価の方が上回り（2016年飼料費E評価・枝肉飼料費C評価、2024年飼料費C評価・枝肉飼料費B評価）効率の良さがうかがえます。またシンプルな配合のため人工乳に着香料など嗜好性副原料を使用せず、子豚の早い時期から穀物主体の飼料に慣れさせられるため、植物タンパク中心の飼料への移行が早まり、切り替えのストレスは少なく最終的には飼料の無駄が減りよく食べてくれます。

豚事協の取組、一緒にやりませんか？

養豚経営をめぐる選択肢はたくさんありますが、Topigs×メンデル×ゆめシリーズで行う養豚経営ほ

ど利益がでる手段もなかなかありません。

そして、豚事協ではそれを全力でサポートしてくれる仲間がいます。今まで積み上げてきた全国の組合の組織の力です。それを利用するには、特別な資格も費用も必要ありません。一緒に取り組んでみませんか、一緒に養豚で儲けませんか？と皆さんに呼びかけられました。

Topigs Norsvin新母豚TN70について説明

日の出物産(株)工藤基弘氏から2025年から販売が始まるTopigs Norsvin新母豚TN70について説明がなされました。詳細な検討会は12月6日（金）に名古屋で行われることが公表されました。

懇親会では(有)松村牧場の「香り豚」試食会開催

最後に賛助会員によるプレゼンテーションの時間が設けられ4社が最新情報を提供しました。(株)メンデルジャパン、(株)YE DIGITAL、島貿易(株)、江南コンクリート(株)

閉会後は同会場で懇親会が行われました。セミナーの中で、Topigs Norsvinの紹介もあったことから、講師として講演いただいた埼玉県(有)松村牧場の「香り豚」の試食会を実施いたしました。ロースとバラの2部位でしゃぶしゃぶを提供し、好評いただきました。会場では活発な意見交換が続き、盛況のまま終了となりました。(加藤)

※このグラフは日格協提供の豚枝肉格付結果等情報提供システムより抽出しております。



畜産環境整備機構のリースを活用しよう！ ～豊富なメニューとさまざまなメリット～

一般財団法人畜産環境整備機構

はじめに

畜産環境整備機構では、畜産農家の皆様に施設や機械装置等のリースを実施しています。また、昭和51年から48年間のリースの実績、とりわけ畜産環境整備への取り組みの経験とノウハウを生かし、畜産農家の皆様をサポートしております。

今回は、養豚経営を行う皆様に、当機構が実施している経営リースと環境リースについて、ご紹介します。

経営リースについて

1. 貸付施設・機械装置について（表1）

家畜ふん尿処理、飼料の生産・給与、家畜飼養管理及び六次産業化など多様な施設・機械装置のリースが可能となっています。近年は、災害対策や規模拡大等による容量の増設に必要な発電機・キュービクルや豚の移動に使用する家畜運搬車の導入が養豚農家の方に人気があります。また、新品機械装置だけではなく、中古機械装置も対象となっておりますので、コスト削減等に活用していただけます。

2. リースのメリット・特徴

(1) 当機構が販売業者や機種を指定することがないため、お客様がご自身で経営規模や機械の使い方、大きさなどを考慮して、お好きな機械やメーカーを自由に選択できます。また、据え付け工事費等の設置に必要な経費についてもリースの対象となりますので、まとめてリースをすることが可能です。

(2) 法定耐用年数を貸付期間としていますが、法定耐用年数の70%（10年以上は60%）から120%（上限20年）まで延長や短縮も可能です（但し、クラスターリースを除く）。

(3) リース期間中の事故等に備えて損害保険に加入し、債務の履行に関しては保証保険に加入していただきます。

(4) 貸付期間終了後は、リース物件はお客様に譲渡され、お客様の所有になります。再リースは行っておりません。

(5) 頭金の準備が不要であり、リース料（基本貸付料・消費税相当額、附加貸付料等）の支払い方法も年1回払と年4回払の選択が可能であるため、効率的に資金計画がたてられます。また、年1回払いの場合は、初年度の支払いについて負担を軽減するための措置がなされています。

(6) 附加貸付料の基準料率は、（株）日本政策金融公庫の利率などを参考に決めているため、低位な料率となっており、譲渡代金（取得価額の10%）には附加貸付料率が不要となるため、更にお得になっています。

(7) お客様が過去に当機構のリースを利用した実績がある方（申請金額が200万円以上の場合）、認定農業者、認定新規就農者、女性経営者、JGAP（家畜・畜産物）、GLOBALG.A.P.若しくは農場HACCP認証農場経営者である場合の附加貸付料率は、（6）の基準料率よりも更に低い0.5%（令和6年10月1日現在）となります（但し、中古機械・装置のリース及びクラスターリースは除く）。

3. 事務の流れについて（図1）

実際、リースをお申し込みいただく際は、当機構が業務を委託している受託団体を通じて、お申し込み下さい。機構で与信審査を行い、貸付決定及びリース契約を締結します。契約方式は、直接リース契約と間接リース契約の2種類がありますが、ほとんどのお客様が機構とお客様が直接契約をする直接リース契約を締結しています。リース契約締結後、発注を行い、施設や機械等の納品時に検収を行っていただきます。検収の立ち合いや検収後に発生するリース料の支払い等の業務も受託団体が行うこととなります。

4. クラスターリース

令和2年度からは、国が実施している畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）のうち機械導入事業のリース方式を経営リースで実施しております。当機構は、リース会社として登録をしておりますので、当機構リースをリース会社として希望・選択される場合は、事前にご相談下さい。

表1
貸付施設等一覧表(抜粋)

	項目	品目	貸付期間	短縮	延長	
家畜ふん尿処理施設等	ふん尿処理施設	堆肥舎、乾燥舎、発酵舎、堆肥置き場、貯留槽、副資材置き場(主として金属製のもの)	14	8	17	
		堆肥舎、乾燥舎、発酵舎、堆肥置き場、副資材置き場(主として木製のもの)	5	3	6	
		貯留槽、浄化槽(主としてFRP製のもの)	8	5	9	
		ふん尿処理施設用屋根(主として金属製のもの)	14	8	17	
		ふん尿処理施設用屋根(主として木製のもの)	5	3	6	
	ふん尿処理機械・装置	発酵機(装置)、攪拌乾燥機(装置)、火力乾燥機、送風機(装置)、換気扇、固液分離機、脱水機、汚水攪拌機、ばっ気装置、浄化装置	7	4	9	
	運搬用機具	フロントローダー、コンベアー、トレーラー、動力運搬車、搬送装置、パネルボックス、トラクター、ショベルローダー、ホイルローダー	7	4	9	
		トラック	5	3	6	
		ダンプカー、軽自動車、フォークリフト	4	2	5	
	散布機	マニアスプレッダー、バキュームカー(けん引式のもの)、尿ポンプ、ブロードキャスト、レインガン	7	4	9	
	作業用機械	パーンクリーナー、ビットクリーナー、スクレッパー、集ふん機、集ふん車、袋詰機、袋詰装置、粉碎機、成型圧縮機	7	4	9	
	悪臭防止用機械・装置	換気装置、換気扇、脱臭装置	7	4	9	
	その他	太陽光発電システム関連機器	7	4	9	
		発電機	7	4	9	
		電気設備	7	4	9	
飼料の生産、給与等	飼料調製用機械	飼料混合機、飼料攪拌機、給餌装置、餌寄せロボット	7	4	9	
	運搬用機械	トラクター、動力運搬車、フロントローダー、ショベルローダー、ホイルローダー、コンベアー、トレーラー、ファームワゴン、ホイスト	7	4	9	
		トラック	5	3	6	
		ダンプカー、軽自動車、フォークリフト	4	2	5	
家畜飼養管理施設等	家畜飼養管理施設	簡易畜舎(主として金属製のもの)	14	8	17	
		簡易畜舎(主として木製のもの)	5	3	6	
		畜舎屋根(主として金属製のもの)	14	8	17	
		畜舎屋根(主として木製のもの)	5	3	6	
	家畜管理機械・装置	家畜哺育用機器、飲水機、給水装置、管理柵、真空ポンプ、スタンション、噴霧機(装置)、洗浄機(装置)、消毒機、ポイラー、暖房装置、細霧装置、秤量機、発情発見機、分娩監視装置、エコフィード給餌システム	7	4	9	
		コンピューター(サーバー用を除く)	4	2	5	
		コンピューター(サーバー用)	5	3	6	
	家畜・卵運搬用機械	プリンター、ハンディターミナル	5	3	6	
		トラック	5	3	6	
	その他	太陽光発電システム関連機器	7	4	9	
発電機		7	4	9		
電気設備		7	4	9		
6次産業化に関する施設等	畜産物の加工用設備	食肉加工品製造機器	ハム製造関連機械、ベーコン製造関連機械、ソーセージ製造関連機械	10	6	12
	製品保管用機械・装置	ストッカー		6	3	7
		非冷ショーケース、製品保管用棚(陳列棚)		8	5	9
		冷凍冷蔵庫、冷凍冷蔵ショーケース、冷蔵冷凍装置、冷凍機、冷却機、冷却装置		9	6	11
	経営管理用機械	コンピューター(サーバー用を除く)		4	2	5
		コンピューター(サーバー用)		5	3	6
レジスター、プリンター、ハンディターミナル			5	3	6	

注1) 赤字は、環境リースの対象施設・機械装置

注2) 経営リースでは、上記に記載のない機械装置もリースの対象となりますので、ご不明な場合は、お問合せ下さい。

ちくかんリースの手続きと流れ（基本）



1

リース物件の選定

希望するリース物件は、

お客様が希望する物件を、ご自身で販売業者と価格交渉し、機構あての見積書作成を依頼してください。

2

リースの申込先

リースの申請書は、

お客様が所属する団体から提出します。
・農協、農協連、飼料基金協会、畜産会等

3

契約の締結・発注

貸付契約書・売買契約書は、

貸付申請書を審査し、お客様とリース契約を締結のうえ、同じ日付で販売業者と売買契約を締結します。
貸付・売買契約日をもって発注が可能となります。

4

リースの開始

納品・検収（物件確認）が完了したら、

- ・リースが開始します。（機構は、お客様あてにインボイスを発行します。）
- ・リース物件の会計・税務処理は「売買」となります。
- ・機械等代金は、機構が販売業者に一括支払いします。
- ・リース期間中の偶発的事故や故障等に対処するため損害保険、債務を保証するため保証保険に加入します。

5

リース料の支払い

リース期間中は、

リース契約に基づいて、年1回又は4回のリース料をお支払いいただきます。（支払月は、物件ごとに検収を完了した月を基準に決定します。）

6

リースの終了・譲渡

リース期間満了後は、

譲渡代金（取得価額の10%）のお支払いをもってリース物件の

所有権がお客様に移転します。

図①

環境リースについて

1. 貸付施設・機械装置について

環境リースは、令和元年度から実施し、経営リースの対象となる施設・機械装置のうち、家畜のふん処理、畜産排水の浄化処理、臭気対策若しくは衛生関連対策に必要な施設等や機械装置が環境リースの対象となっております。その中でも発酵機（コンポスト）、脱水装置、浄化槽や浄化装置などの増設・更新などが人気で、養豚農家から多くのお申し込みをいただいております。環境リースは、経営リースと違い、新品のみが対象となり、中古はご利用いただけません。

2. リースのメリット・特徴及び手続きの流れ

環境リースのメリット・特徴及び手続きの流れは、経営リースとほとんど同じです。ただし、経営リースとの違いが一つあります。リース事業を利用されるお客様が本来負担する損害保険料相当額及び保証保険料相当額については、農畜産業振興機構の補助金が当機構に交付されるため、お客様の実質的な負担は0（ゼロ）になります。経営リースに比べて、お客様の負担が軽減されるリース事業になっています（但し、補助の対象は法定耐用年数を限度とし、延長した分の損害保険料相当額及び保証保険料相当額はお客様負担）。

おわりに

当機構リースは、リースの申込みに期日や期限はなく、随時受付を行っています。但し、環境リースは、本年度をもって終了しますので、申込みを希望される方がいましたら、早めの申し込みをお願いします。

リースの相談・お申し込みについては、日本養豚事業協同組合または当機構に直接お問い合わせ下さい。

最後に、当機構ではリース事業以外にも、福島県に畜産環境技術研究所があり、一般の畜産農家の方々向けにも堆肥の分析等を実施しております。一般分析や微量分析などの用途に併せた検査が可能となっておりますので、堆肥の利用促進にご活用いただければ幸いです。

○リースの申込・問合せ（担当：雨宮）

Tel：03-3459-6348

Fax：03-3459-6315 Mail:amamiya@leio.or.jp

○堆肥分析等の申込・問合せ（畜産環境技術研究所）

Tel：0248-25-7777 Fax：0248-25-7540



	環境リース (畜産環境対策リース)	経営リース (畜産整備リース)	経営リースのうち クラスターリース
新品・中古	新品のみ	新品・中古可能	クラスター事業の実施要領に基づき、新品・中古可能
貸付期間	・短縮は、法定耐用年数が10年未満は70%まで、10年以上は60%まで可能 1年未満切り捨て ・延長は、法定耐用年数の120%まで可能 1年未満切り上げ（20年以内） *但し、延長した分の保険料は自己負担	・短縮は、法定耐用年数が10年未満は70%まで、10年以上は60%まで可能 1年未満切り捨て ・延長は、法定耐用年数の120%まで可能 1年未満切り上げ（20年以内）	法定耐用年数
リース料の支払方法	年1回払いか年4回払いで選択可能		
附加貸付料率 (令和6年 10月1日現在)	0.7%	0.7%	0.7%
	0.5%	0.5% <small>*中古機械は、低減料率の適用なし</small>	

図② 環境リースと経営リースの比較

第3回若夢会、「若夢女子会」開催②

第3回若夢会と豚事協女性部との共同開催で「若夢女子会」が今年6月28日（金）と29日（土）に開催されました。その1日目の様子は本誌前号である第135号で報告させていただきました。今回は「若夢女子会」の2日目の質疑応答とパネルディスカッションの様子をご報告させていただきます。

早川先生との質疑応答

2日目は、1日目のホテルモントレー銀座から場所を移して銀座フェニックスプラザにて開催されました。前日のホテルモントレー銀座での豪華なディナーの盛り上がりを引き継いで、2日目も参加者の皆様の熱心な意見交換が続きました。朝のスタートは、事前に参加者の皆様から寄せられていた早川先生への質問のうち、前日に答えきれなかったものを題材に早川先生からお答えいただきました。

① 女性と仕事に関する質疑応答

最初の質問は、女性と仕事に関する質問でした。「女性にとって苦手な事、例えば体力の問題や機械、電気関係、修繕等の部分は、皆さんどうしているのか」という質問です。早川先生からは、「頼れるところは男性に対して遠慮せずにとんどん聞いたり、頼んだりした方が良いですよ。」というお答えでした。参加者からは、「むしろ私得意です。」とかいう声も上がり、女性だから、男性だからという思い込みも考え直すべきかもしれません。

さらにフロアからも、女性の出産、育児と農場の仕事の両立について、様々な悩みや意見が話し合われました。女性が養豚場で働くうえで、出産や、育児、女性特有の身体的な事柄については、女性が我慢するのではなく周囲の理解を得ながら周りを巻き込んでいく事が大事、という意見が多かったようです。この部分は、経営者の理解が必要な事柄も多かったため、7月の豚事協総会の中でも時間を取って、若夢女子会報告として総会参加者にお伝えしました。

② 管理技術に関する質疑応答

続いて、参加者が農場内で行う養豚管理に関する技術的な質問についての質疑応答になりました。特に分娩舎での哺乳豚の管理、母豚の管理について、具体的

な質問が相次ぎました。個々の質問と回答については誌面の関係上割愛させていただきますが、特に母豚が子豚に授乳しながらいない場合の対応について、母豚の状態を観察したうえで、乳房を良くマッサージする事の重要性について早川先生から回答がありました。

働く女性が感じている事（パネルディスカッション）

最後にパネルディスカッションとして、参加者全員が、働く女性が感じている事を話し合いました。以下に参加者の意見を列記しました。

- ・ 出産時の産休、出産後の育休や時短勤務の制度などは整いつつあるが、復帰後に、配慮をしてくれているのだろうが、自分の希望の部署（実際に豚の管理を行う現場）に就けない場合があって、希望を聞いてもらいたい。
- ・ 女性が多い職場は、農場内の整理整頓が進みきれいになる。女性ならではの気づきもあり、女性が農場にいるメリットは大きいと思う。
- ・ 女性のいる農場では、女性用のシャワー、トイレの個数などを配慮してもらいたい。シャワーの後にパウダールームを設けるなどの気配りがあると、女性の就業率も上がり、退職率も下がるのでは。
- ・ 女性が養豚場で働くためには周囲の理解も重要。周囲が気持ちよくカバーをしてくれるためには、コミュニケーションをしっかりと行う必要が有る。
- ・ 女性でも肥育部門でしっかり活躍している方もおり、男性だから、女性だからという思い込みは意外と必要ないのかもしれない。

まとめ

今回、初めての企画として若夢女子会を開催しました。これまで養豚場で働く女性同士が一堂に集まる場がほとんどなく、参加された方々は、それぞれが同じ悩みや心配事を抱えている事を実感されて、お互いにほっとしたり、共感しあったり、大いに盛り上がりいただけたと思います。この盛り上がりを大切に、もっと多くの女性が養豚場で活躍してもらえるよう、豚事協も応援をしていきたいと思っています。

「矢原の部屋」 Vol. 7

専務理事 矢原 芳博

みなさんこんにちは、皆様のお悩み相談窓口「矢原の部屋」です。豚事協では、今年も恒例の支部セミナーを全国7か所で開催いたします。すでに9月27日には、トップバッターとして九州支部セミナーが都城市で開催されました。今回も非常に多くの皆様にご参加いただいております盛況のうちに開催することができました（セミナーの詳細は開催報告のコーナーで詳しくご報告いたしますので、そちらもご参照ください）。

病気と闘わない養豚

今年の支部セミナーのテーマは、「病気と闘わない養豚」です。この言葉は、ファロスファーム（株）の竹延社長が最初に使われたという事です。養豚の生産成績が格段に向上している昨今、豚が持つ能力を最大限発揮させるためには、農場に病気が存在していないことが非常に重要なファクターとなるという事だと思えます。前職では30年以上の長きにわたり、病気と闘ってきた（そして連戦連敗であった）私にとっては、この言葉が今非常に心に響きます。今回は「病気と闘わない養豚」について思うところを書かせていただきます。

養豚は病気との戦いが当たり前だった？

私が養豚界に入門したのは、1986年（昭和61年）で、今から38年前でした。獣医学部を卒業してすぐに民間の臨床検査センターに配属になり、検査をしては、その結果を持ってお客様の養豚場にお邪魔して対策を一緒に考えるという仕事を始めました（結局その仕事を30年以上続けておりました）。当時は1980年にオーエスキー病（AD）が日本に初めて上陸してから6年経って、関東で広がっている最中でした。神奈川、埼玉、千葉、茨城、群馬と感染が拡大していく中、ひたすら農場を訪問し採血をしながら抗体検査を繰り返す毎日でした。結局ADは、欧米のワクチンの接種が進み、ほとんどの地域で撲滅できたものの、初発から44年経た今も完全な清浄化には達して

いません（あともう一息の所まで来てはいますが…）。

ADの初発から約10年後、日本も含めた世界各地で原因不明の異常産、離乳豚の衰弱、死亡が散発し始め、1993～4年にその原因が豚繁殖及び呼吸障害症候群（PRRS）というウイルス病であることが分かりました。PRRSウイルスは、それ以前には存在すら知られておらず、養豚界における、いわゆる新興感染症（エマージングディゼーズ）の先駆的な存在となりました。PRRSについては現在においても業界の経済的損害の大きな疾病の筆頭です。

次に出てきたのが豚サーコウイルス2型（PCV2）であり、これもワクチンが発売になる直前まで、離乳後事故率20～30%あるいはそれ以上の激しい損耗をもたらし、極めて大きな衝撃を業界に残しました。幸い1998年にPCV2ワクチンが日本でも発売となり、これが顕著な効果を発揮したため、PCV2の脅威は激減しましたが、最近でも変異株による突発事例も散発しており油断できません。

このように養豚界においては、5～10年ごとに新たな疾病が現れて、常に病気の足し算の状態が続いています。頑張って清浄化を達成した豚熱も再発生を許してしまったし、アフリカ豚熱も、もうそこまでやってきています。

病気と闘うか、闘わずに清浄化するか

このような病気との戦いに明け暮れながら、いつも感じていたのは、苦勞の末に農場内でその病気の清浄化を達成できた時には、その前後で飛躍的に生産成績が向上するという事であり、たまたまその現場に獣医師として居合わせていた場合には、生産者の皆様に非常にありがたがっていただけるという事でした（めったにはありませんでしたが…）。

しかし、現在残っている疾病は、いずれも豚の体内あるいは身体の外で想定以上に長生きし、ワクチン接種や抗生物質の投与だけでは清浄化することが難しいものばかりです。その中で、農場を一度空っぽにして、徹底的に消毒し、病原体がないことを

確認したうえで、病原体を持たない豚を導入することで農場清浄化を達成する、農場総入れ替え（トータルデポピュレーション）という手法をとる農場事例が数多く紹介されるようになってきました。当初私は、「そのような手法を取ればベストだが、生産を中断してまでも、取り組める農場はかなり希少な農場だろう。」とっておりました。

しかし、清浄化成功農場が達成する生産成績の向上度合いを目の当たりにするに連れて、「清浄化後に得られる利益の大きさを考えると、どうにかして清浄化に取り組んだ方が得ぞ！」と考えるようになってきました。それもこれも、豚事協のメンバーの中で先進的に清浄化に取り組んでこられた方々が開示してくれた情報に接することができたおかげです。

豚の持つ遺伝能力を最大限引き出すために

豚事協では今後も、疾病清浄化によって高いレベルの生産成績を安定的に達成して大きな利益を得ている方々の事例を積極的に皆様にご紹介することで、ご自分の農場で「病気と闘わない養豚」を実践するヒントを得ていただきたいと思います。矢原の部屋もそのお手伝いのできればと思います。がつつりと取り組むには養豚コンサルタント獣医師の全面的なアドバイスが必要ですが、その体制に達する前のちょっとした疑問や悩みなど、何なりとお気軽にお尋ねください。矢原の部屋でお待ちしております。

豚事協の第25期行事

理事会

第 1 2 1 回	令和 6 年 6 月 12 日 (木) (東京)
第 1 2 2 回	令和 6 年 7 月 26 日 (金) (東京)
第 1 2 3 回	令和 6 年 9 月 12 日 (木) (東京)
第 1 2 4 回	令和 6 年 12 月 12 日 (木) (東京)
第 1 2 5 回	令和 7 年 3 月 13 日 (木) (東京)

豚事協支部セミナー

九州支部セミナー	令和6年9月27日(金)(宮崎県都城市)
北海道支部セミナー	令和6年10月18日(金)(北海道札幌市)
東北支部セミナー	令和6年11月8日(金)(岩手県盛岡市)
中部支部セミナー	令和6年12月6日(金)(愛知県名古屋市)
※中部支部セミナーは全国組合員対象のTopigs NorsvinTN70研究会となります。	
関東支部セミナー	令和7年1月17日(金)(東京)
中四国支部セミナー	令和7年2月14日(金)(愛媛県松山市)
沖縄支部セミナー	令和7年2月28日(金)(沖縄県那覇市)

女性部

若夢女子会	令和6年6月28日(金)、29日(土)
-------	---------------------

その他

海外視察研修	令和6年6月4日～10日(アメリカ)
国際養鶏養豚総合展2024	令和6年4月24日～26日(ポルトメッセなごや)

※青字は令和6年11月1日以降の行事となります。都合によっては変更・中止となる可能性もありますこと、ご了承下さい。

編集後記

今年もあと2か月で終わりの、2025年を迎えようとしています。月日の流れは早いものであれほど暑かったのに、もう寒さが訪れようとしています。楽しい時はあっという間にすぎ退屈な時間は長く感じる、よく言われていることです。先日大好きなサウナに入り無心になっていると気づけばもう3時間…。この時間が長く感じばいいのに、とよく思います。この原理は諸説ありますが、心理学などの研究では時間の経過に注意が向けられる頻度が高いほど時間がより長く、時間の経過に注意が向けられる頻度が低い場合や、時間の経過以外の事柄に注意が向けられる場合には、時間は短く感じられるとされています。つまり考えれば当たり前のことですが、物事に集中していると時間を顧みることが忘れる(ように感じている)ので時間があっという間にすぎたように感じることです。ではどうすればその楽しい時間を長く感じられるのか。一つのアプローチとしては身体的代謝が激しいときには、時間の長さの知覚の基礎にある過程も活動が激しくなるそうです。たとえば時計が同じ1分間を示す場合であっても、通常よりも速く心的時間が刻まれることによって、1分よりも長い時間が経ったように感じられることになります。確かにトレーニングをして心拍数があがっている時に「まだ終わらないのか」と感じることはありますね。このことから運動などして心拍数があがっている時に楽しくと感じれば、集中して時間への注意がなくなった時でも長く感じられるかもしれません。そういう意味では、熱い中で我慢するサウナで心拍数をあがながら汗をかく、この時間に悦を感じる私のようなサウナ内では、時間を長く感じることができてもいいかもしれません。全国に素晴らしい施設が多いので皆様におすすめの趣味、体験です！特に価値観を変える可能性があるのは「薪サウナ」です。薪ストーブでサウナ室内を温める形式で熱いのに息苦しさがない。考えていたら行きたくなってきました。今晩はサウナに入ってから帰宅しようと思います。(加)